

2012年度3年次編入学試験「実技試験」「小論文」等の採点基準

学科・専攻	実技試験(芸術学科は小論文)	面接		
	狙い・意図、採点のポイント	狙い・意図、採点のポイント	小論文 利用	実技 試験 作品 利用
日本画		提出作品から、表現力、発送力および技術レベルを総合的に判断。面接では本学志望理由、小論文を参考に判断した。	●	
油画		当該学年に相当するだけの作品に対する技術力・表現力・思考力が充実しているか。各自の大学編入後のビジョンはあるか。どのような意図で制作しているか、また美術について普段どのようなことを考えているか。本学を選んだ理由が明確かどうか等を総合的に判断して採点した。	●	
彫刻		提出作品を教員全員で見る。彫刻学科の専門課題での制作に順応できる能力を持った作品であるか。面接では、本学彫刻学科への志望の明確な理由を明確な理由と熱意をしっかりと述べられるかを考査する。小論文にても参考とした。	●	
工芸		本学工芸学科を志望する具体的な動機や専門授業に対する表現や技術レベルを推しはかり、小論文も参考にしながら、今後の授業にすることが可能であるかを観ると同時に、人物から受ける熱意なども合わせて判断した。	●	
グラフィック デザイン	[鉛筆デッサン] ・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・伝達力 問題の目的や状況を正確に表現しているか ・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか ・描写力 構図、形、動く、光、量感などを描写することに必要な技術が優れているか ・個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか ・3年次に相当する能力を有するか	・編入学志望理由が明確であるか ・授業への取り組みの意欲があるか ・持参作品による描写力、色彩・構成などの基礎的造形力の評価	●	×
	[色彩構成] ・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか ・造形力 アイデアを明快でムダのない色彩と構成によって、美しく整理できているか ・完成度 手仕事としての仕上げが優れているか ・個性 品格、感性に優れているか ・3年次に相当する能力を有するか			
プロダクト デザイン	・理解力＝問題の把握、理解が適切か ・発想力＝アイデアが優れているか ・独創性＝他にないアイデアか ・実現力＝アイデア具体化方法の知識があるか ・表現力＝アイデアが伝わる表現か ・3年次に相当する能力を有するか	・3年次相当の実技力があるか ・本専攻の内容を理解しているか ・本専攻への入学意図は明確か ・自分の意見を述べられるか ・学習意欲が感じられるか	×	×
環境デザイン	本学3年生と同レベルの造形力、およびデッサン力があるか。形、空間を把握し、平面上に表現する能力があるか。	在籍中の学校において本学科の1,2年次で学ぶ内容と同等以上の教育を受けているか、また本学科の3年生と同レベルの知識、デザイン力があり、授業についていけるかどうか。学校を変えることに対する目的意識がはっきりしているか。実技試験と共に、在籍中の学校の課題作品のポートフォリオで評価する。	×	●
情報デザイン :メディア 芸術 コース		・情報芸術コースの2年次までのカリキュラムで身につける、あるいはそれ相当の作品制作に必要な知識やスキル ・編入前の大学における学習成果と成績と、それを編入後に活用していく力 ・情報芸術コースの教育内容、制作内容に関する調査と理解 ・編入および編入後の製作に関する明確な目的/目標の有無		
情報デザイン :情報 デザイン コース		・一般入試の学生と遜色ない描写力、表現力を持っているか ・情報デザインに対する適性はあるのか ・専門講義科目を理解する学力は備わっているか	●	
芸術	論述の着眼点が出題内容に対して的確であるか、論旨は明確で説得力があるか、卒業論文を書き上げるにふさわしい能力があるかという点が判断基準となります。常識的にまとめあげた文章より、テーマに踏み込んだ独自の発想を期待しています。	芸術学科で何を研究したいのか、受験生の知的能力や知的関心とその研究をすすめていくのに十分か、芸術の理論や歴史に関する基礎知識は持っているか、卒業論文を書き上げるのに十分な能力を有するか、などを判断します。	×	×

全学科共通小論文

編入の目的・意欲を明確に抱いているか。制作と社会性の関連を視野に抱いているか。豊かな専門性を持っているか。
採点のポイントは、文章が具体的に論じられているか。「ねらい・意図」に正対して書いているか。